リードレスペースメーカー治療を受ける方へ

患者氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 様

リードレスペースメーカー治療は、洞不全症候群、房室ブロック、徐脈性心房細動に対し心臓内にペースメーカーを留置し心筋を電気的に刺激し、適正な心拍を維持します。
3泊4日の予定となります。

退院基準：①穿刺部の出血がない　②発熱がない

特記事項：

	外来	入院当日（　/　）	治療当日（検査前）（　/　）	治療当日（検査後）	治療後1日目（　/　）	治療後2日目（　/　）
検査・治療・処置	●血液検査 ●胸部ﾚﾝﾄﾄﾞｹﾞﾝ検査 ●心電図検査 ●経食道心エコー 上記の検査を行います 	●血液検査、心電図検査があります。 その他追加検査がある場合があります。 ●入院時検温・血圧測定をします。 ●身長･体重測定を行います。 ●医師の指示により心電図モニターをつけることがあります。 ●リストバンドを付けます。	●検温・血圧測定をします。 ●検査着に着替えていただきます。 肌着は着ないで下さい。 パジャマのズボンは着用できます。	●検温・血圧測定をします。 ＊帰室時 ＊1時間後 ＊3時間後 ＊安静解除時 ●心電図とレントゲン撮影をします。 ●心電図モニターを装着します。 ●足の付け根にある圧迫玉は安静解除時医師がはずします。 （安静解除が21時を超える場合翌朝となります）	●検温・血圧測定をします。 ●血液検査 ●心電図検査 ●胸部レントゲン検査 ●心エコー検査 ●臨床工学士によりペースメーカーチェックをします。 （時間未定です。） ●創部のガーゼ交換を医師により午前中に行います。 ●午後に心電図モニターを外します。 	●検温・血圧測定をします。
薬剤		●普段内服しているお薬がありましたららお知らせ下さい。 ●内服は看護師管理になります。 ●中止していただくお薬があればお知らせします。 それ以外のお薬はいつもどおり飲んでください。 ●医師の指示で、治療前日から点滴をすることがあります。	●治療前より点滴をはじめます。 □午前治療の場合 7～9時頃から点滴を始めます。 □午後治療の場合 11時頃から点滴を始めます。 ●抗菌薬の点滴をします。 （点滴挿入時に血液検査を行います。） ●中止する薬が、 ある（　　） なし 治療前日にお知らせします。	●安静解除時まで点滴を行います。		
安静度	●普段通りの生活ができます。	●病棟内歩行できます。		●使用する管によって、４～８時間はベッド上安静になります。 それまで出血予防の為，穿刺部位の下肢を固定します。 ●安静解除後、トイレ歩行ができます。	●病院内歩行できます。	
排泄	●制限はありません。		●治療・安静が長時間になるため尿管カテーテルを挿入させていただきます。	●ベッド上安静の時は、ベッド上での排泄になります。 ●安静解除の際に尿管カテーテルを抜きます。	●制限ありません。	
清潔	●入浴できます。	●足の付け根の毛剃りを行います。	●時計、指輪等のアクセサリー、入れ歯、眼鏡、化粧、マニュキア、コンタクトレンズは外してください。 	●安静解除後、着替えることができます。 ●入浴できません。	●創部のガーゼ交換後、シャワー浴ができます。 ※創部の上にフィルムを貼ります。	●次回外来まではシャワー浴にして下さい。
食事・栄養管理		●生活習慣病とある患者さんは、カロリー・塩分制限食になります。	●午前に治療される方の朝食は絶食です。 ●午後に治療される方の昼食は絶食です。	●むかつき等なければ食事をとることができます。		
説明・指導・教育	●治療・同意書の説明を行います。	●病棟の案内をします。 ●手術前後の経過について説明します。 ●薬剤師から薬について問診があります。 		●治療後は集中治療室への帰室となります。 1時間程状態をみて一般病棟へ帰室します。	●パンフレットをお渡しします。	●看護師から退院の説明を □次回外来受診日 □内服説明 □手帳の説明 ●傷口の縫合糸は1週間後の外来で抜糸をします。